

## 海況速報

平成4年度 第4号 (通算 No.28)  
平成4年10月27日  
北海道立水産試験場

### 9月下旬～10月上旬の海況

#### 【日本海海域】

表面水温は宗谷海峡西口の15～16℃台から津軽海峡西口の19℃台の範囲にあり、全体的に16～18℃台の水温で覆われています。これは8月期と同様、昨年、一昨年よりも2～3℃程度低い値です。また、日本海北部では、武蔵堆から雄冬に向かって50m以深に冷水の入り込みがみられ、これにより対馬暖流の北上が分断され、この結果、積丹半島沖合および礼文島西側海域で暖水が塊状に分布しているように見えるのが特徴的でした。

余市における沿岸水温（旬平均）は7月下旬以降継続して平年値を1～2℃下まわり、年最高値も平年であれば8月中月上旬（22.5℃）であるところが、今年は8月下旬（21.9℃）にみられました。

#### 【オホーツク海域】

沿岸域では宗谷暖流が依然として知床半島まで達し、とくに網走沖までは50m以浅で13℃以上の暖水がみられました。また、今回の観測では表面から100m層にかけて、沖合中冷水と沿岸暖流水とのあいだに顕著な潮境が形成されているのがみられました。

水温は全般的に昨年並み、ただし、表面水温は一昨年と比べると2～3℃低めとなっています。

#### 【太平洋海域】

表面水温は沿岸域で13℃台、沖合域で14～17℃を示しており、昨年と較べると沿岸で1～2℃程度低くなっています。50～100m層では沿岸の暖水域（道東沿岸流）がやや低め、その沖合を親潮系水が広く覆っており、暖水塊は見られませんでした。

## 【道南太平洋】

表面水温は北部では14～15℃台、南部では16～19℃台を示しており、昨年よりやや低めでした。また、100m以深では南部で、昨年、一昨年と較べ、かなり低い水温分布がみられました。

---

### 資 料 [観測期間]

稚内水試 (北洋丸)	平成4年9月28日～同10月1日 (道北日本海海域)
稚内・網走水試 (北洋丸)	平成4年10月5日～同10月8日 (オホーツク海域)
釧路水試 (北辰丸)	平成4年10月3日～同10月7日 (道東太平洋海域)
函館水試 (金星丸)	平成4年9月28日～同9月29日 (道南太平洋海域)
中央水試 (おやしお丸)	平成4年10月5日～同10月8日 (道央～道南日本海海域)

---

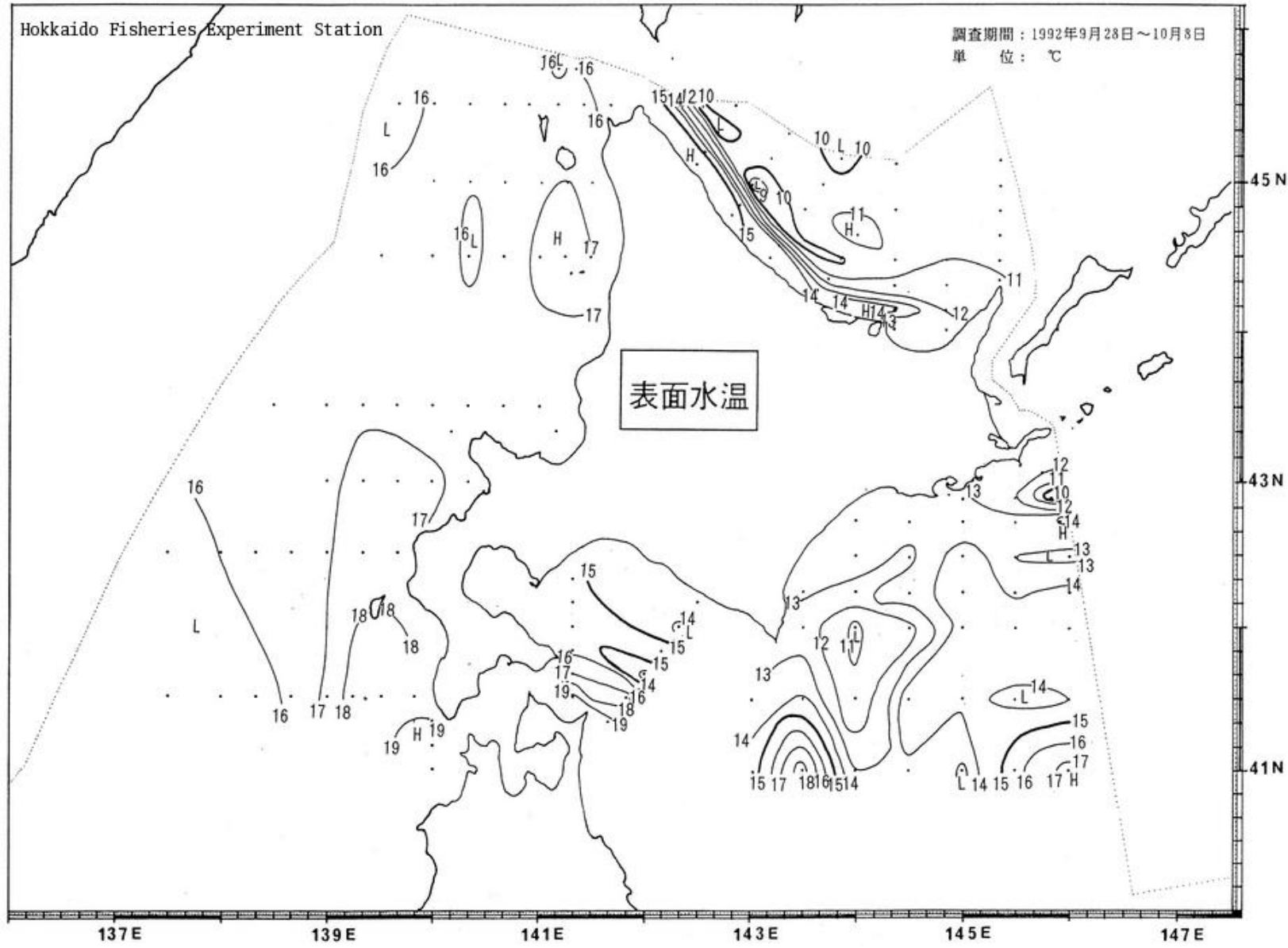
(中央水試 海洋部)

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1992年9月28日～10月8日

単位：℃

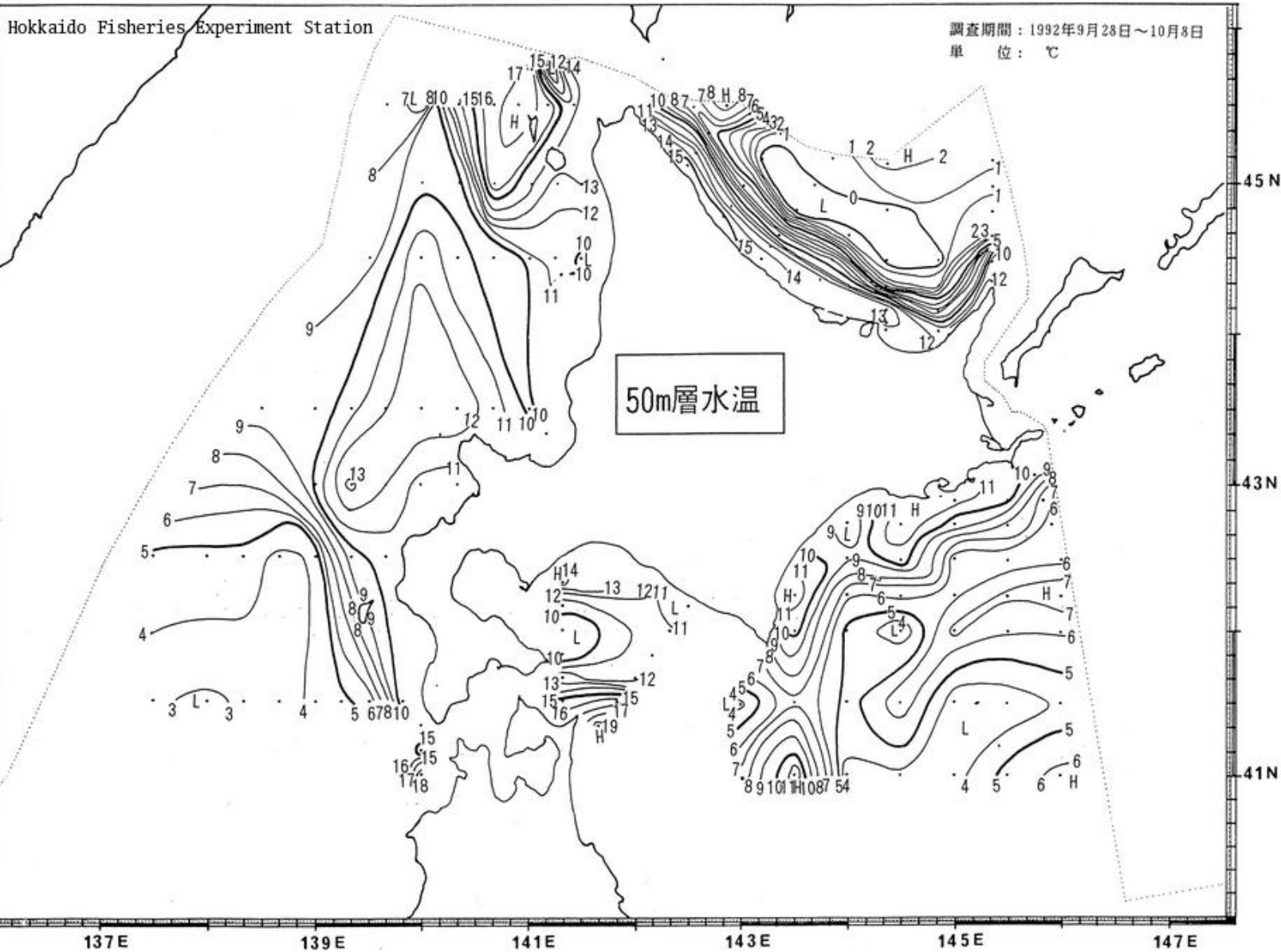
表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1992年9月28日～10月8日  
単位：℃

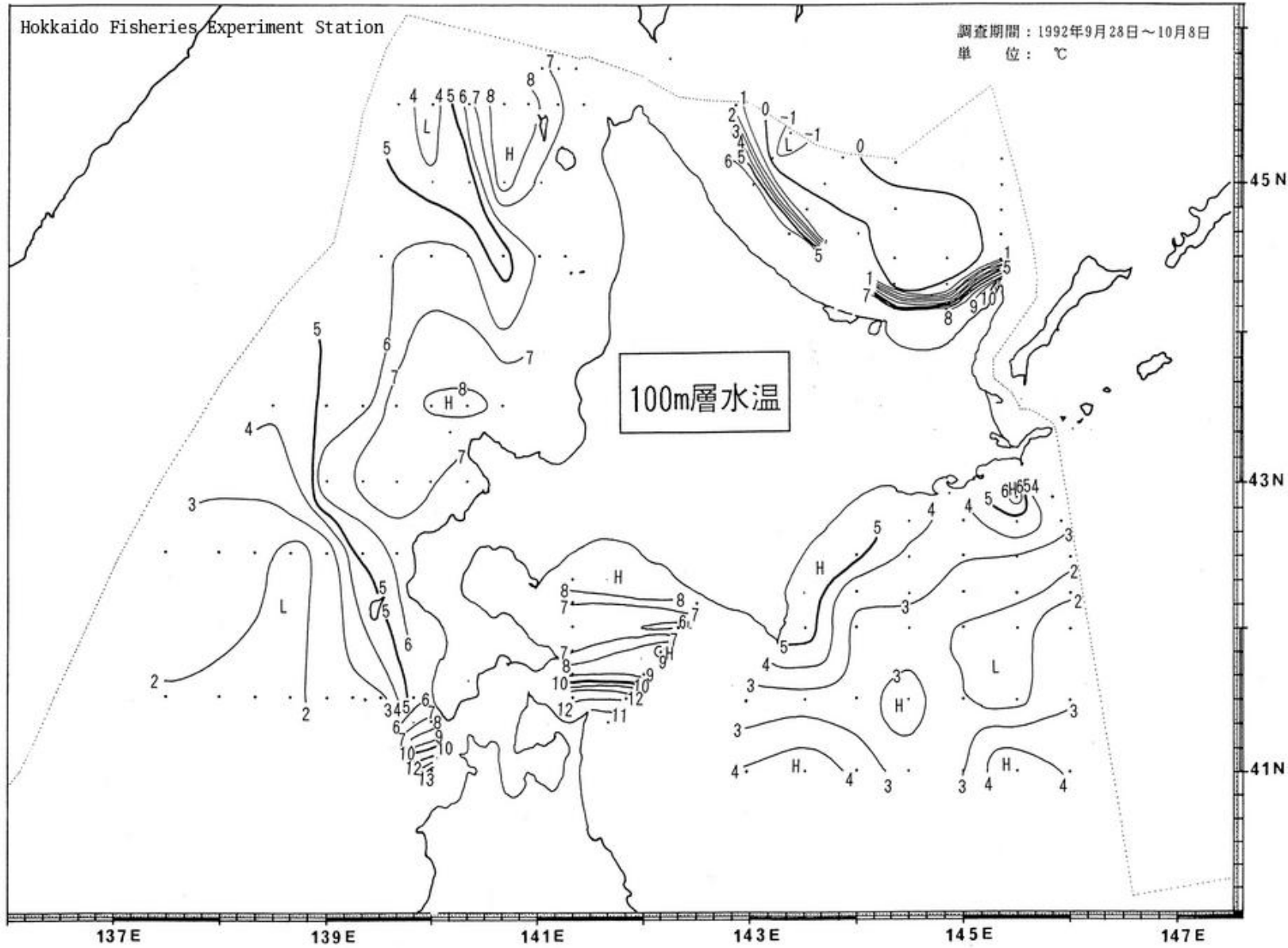
50m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1992年9月28日～10月8日  
単位：℃

100m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1992年9月28日～10月8日  
単位：℃

200m層水温

